

都市再生整備計画 事後評価シート
児玉市街地地区

平成27年3月

埼玉県本庄市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	本庄市	地区名	児玉市街地地区			面積	1574ha				
交付期間	平成21年～平成25年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	966百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 市道改良事業(23路線及び区画道路12路線)、公園(保木野公園及び街区公園4箇所)、地域生活基盤施設(雑岡城址、案内板等)、高質空間形成施設(児玉駅前公衆トイレ)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	市道5-826号線、市道2-35号線		削除/追加の理由 【市道5-826号線】踏切拡幅工事であり、JRとの協議の結果、計画期間内に工事が困難という結果になったため 【市道2-35号線】権利者の理解が求められず計画期間内に工事竣工が困難なため			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 -					
		提案事業	塙保己一記念館改修事業、雨水処理基本計画策定事業		【塙保己一記念館改修事業】損朽状態を点検し、建物外観の一部改修では対応しきれない状態と判断され、基本的な指定文化財の管理・活用計画に変更の必要が生じたため 【雨水処理基本計画策定事業】能力的な問題等の確定作業に時間を要し、計画期間内の実施が困難なため			【塙保己一記念館改修事業】指標3の塙保己一記念館年間来館人数は、他の事業の効果により一体的に散策する人の変動を考慮したものであるため、影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	市道2-101号線、保木野公園、児玉駅前公衆トイレ		【市道2-101号線】安全・安心・快適の目標を達成するため追加 【保木野公園】新たな公園を整備する必要が高まったため 【児玉駅前公衆トイレ】来訪者などが使用でき、バリアフリー対応の公衆トイレを設置するため追加			-					
		提案事業	防火水槽設置、LED道路照明灯設置、消防倉庫(児玉町蛭川他)		【防火水槽】消防水利の充実を図る必要があるため 【LED道路照明灯設置】水銀灯の老朽化に伴い代替える 【消防倉庫】事業の位置づけの変更のため			-					
交付期間の変更	当初変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	公園愛護会団体数	団体	2	H20	4	H25	4	○	あり なし	土地区画整理事業地内の4公園の整備に関するワークショップを行い、「どのような公園にしたいか」について把握に努めたことにより、利用者である住民が求めている公園の整備が実現でき、住民が愛着を持った公園活用と交流の場として重要な愛護団体の新設につながった。	-	
	指標2	道路網の整備に関する満足度	%	31	H19	40	H25	26	60	○	あり なし	当該地区は、旧本庄市の市街地に比べ、都市基盤整備が遅れており、安全・安心な環境整備が求められていた。そうした中、地域住民が安全・安心に生活する上で必要不可欠な生活道路網の整備を行った。合わせて、これらの事業実施の周知を行った結果、満足度の向上につながった。	-
指標3	塙保己一記念館年間来館人数	人/年	3,234	H19	4,000	H25	3,453	△	あり なし	● ○	平成25年度は目標達成に至らなかったが、来館者数を見ると、2月と4月が平成19年度から平成24年度の月別平均来館者数を大きく下回っている。天候等の影響と考えられる。平成21年の「歴史探素ウォーキングマップ(ほんじょう)の作成・配布などの影響もあり、途中年度では目標達成されているため、1年以内の目標達成の見込み有り。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
その他の数値指標1	危機管理体制の充実に関する満足度	%	26	H19				38	40	△	あり なし	災害に強いまちという観点から、災害発生時への備えとして、防火水槽と消防倉庫(消防器具置き場)を設置した。また、安全性確保のためLED道路照明灯の設置や市営住宅の改修を行った。合わせて、これらの事業実施の周知を行った結果、満足度の向上につながった。	-
4)定性的な効果発現状況	<p>・児玉駅前公衆トイレの新設について、住民を対象としたアンケート調査において、満足しているという意見が多く寄せられたとと、地元自治会長より高校生のトイレ利用者が増えたとの声が寄せられている。</p> <p>・公園事業について、住民を対象としたアンケート調査において、公園の数が増えたことを住民が実感しているという結果が得られた。</p> <p>・児玉町旧配水塔改修工事後、団体での見学案内依頼が増加している。(小学校の総合学習や各種団体史跡巡りなど)</p> <p>・競進社模範畜産風の公衆トイレを設置したことにより、児玉駅前改築工事において、新駅舎のデザインに対して住民より要望書がJR東日本や市に提出されており、市民のまちづくりへの参加意識の向上が見られた。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況										
	モニタリング	市民意識調査の実施(道路網の整備に関する満足度の把握)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
		児玉南土地区画整理事業地内の4公園の街区公園整備に関するワークショップの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	地域住民への広報誌やホームページ等を活用した各種事業の情報提供	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
		児玉駅前公衆トイレに関する意見交換会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	ロードサポート制度	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
			今後の対応方針等										
			<p>● 実施結果を踏まえ、事後評価時は事業の目的や成果の情報提供に努め、指標の改善に至っている。今後も積極的な情報提供を行う。</p> <p>● 今後も地域住民との連携を図り、協働による魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>● 今後もまちづくりへの理解を得るため、積極的な情報提供を行う。</p> <p>● 今後も地域住民との連携を図り、協働による魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>● 今後もロードサポート制度の運用を継続していく。</p>										

様式2-2 地区の概要

児玉市街地地区(埼玉県本庄市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:都市基盤の充実による安全・安心な環境のもと、歴史や文化といった地域資源の一体的活用と住民間の活発な交流が図られるまちづくり 目標1:子供からお年寄りまで、地域住民間の活発な交流が図られる環境づくり、及び環境整備を行う。 目標2:生活道など都市基盤の充実を図り、安全・安心・快適に生活が送れる環境づくりを行う。 目標3:貴重な史跡や文化財の適正な保全と価値の増進を図り、一体的な活用が図られる環境づくりを行う。		公園愛護会団体数	単位:団体	2	H20	4	H25	4	H25
		道路網の整備に関する満足度	単位:%	31	H19	40	H25	60	H26
		塙保己一記念館年間来館人数	単位:人/年	3,234	H19	4,000	H25	3,453	H25
		危機管理体制の充実に関する満足度	単位:%	26	H19	—	—	40	H26
			単位:		H		H		H
		■基幹事業(道路) 道路整備箇所		■基幹事業(地域生活基盤) 雫岡城址		■基幹事業(地域生活基盤事業) 案内板等(文化財等の観光資料)			
		■提案事業(地域創造支援事業) LED道路照明灯設置		■提案事業(地域創造支援事業) 土地利用・建物等の状況調査		■基幹事業(高質空間形成施設) 児玉駅前公衆トイレ			
		■提案事業(地域創造支援事業) 児玉町旧配水塔改修事業		■提案事業(地域創造支援事業) 公共施設水洗化事業		■提案事業(地域創造支援事業) 防火水槽設置			
				■提案事業(地域創造支援事業) 児玉市営住宅改修事業		■提案事業(地域創造支援事業) 消防倉庫(児玉町蛭川他)			
				■提案事業(地域創造支援事業) 公園、文化財ワークショップ事業		■基幹事業(公園) 街区公園4箇所・保木野公園			
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の交流、また、住民と市との連携強化の課題に対し、新規に造成された公園予定地の整備及び、推奨散策ルートの設定や案内板等に関するワークショップを行うことで、地域住民に主体となって考えてもらい、まちづくりへの関心を持ってもらえた。 ・防犯や災害対策などの一層の充実を図る課題に対し、生活道路網の整備、LED道路照明灯や消防倉庫(消防器具置き場)、防火水槽の設置などにより、危機管理体制が強化され、安全・安心な生活環境の整備が進んだ。 ・現在に受け継がれる史跡や文化財、自然環境などの地域資源を次代に確実に伝える課題に対し、国登録の有形文化財に指定されている児玉町旧配水塔を推奨散策ルートに相応しいよう、改修・防護柵の設置を行い、地域資源の保全と安全面の確保をした。 ・さらに、まちなかに案内板を設置することで、文化財等の散策をしやすい環境づくりが進んだ。今後、世界文化遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関係が深く注目を集めている「競進社模範蚕室」の活用に向けた具体的な検討が求められる。また、来訪者の玄関口の一つである児玉駅前に観光案内板が必要である。 ・千本桜公園は、花見客やサイクリングの休憩場所として、こども千本桜や小山川を活かした公園整備が行われた。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・市からの情報発信や自発的な活動意識を醸成するような取り組みを実施し多くの住民が参加できるようにする。 ・安全・安心の確保は、ハード的な整備とソフト的な体制強化や意識向上の促進など、両面から対策を行う。 ・史跡や文化財の保全・活用のため、資源の連携を図り、誰もが気軽に訪れることができる場所づくりを行う。 							